

令和3年度 第7期第3回

丹波市下水道事業運営審議会

議 事 録

令和4年2月14日（月）
氷上住民センター

1. 開会日時 令和4年2月14日(月) 午後1時32分 開 会

2. 開催場所 氷上住民センター 大会議室

3. 出席者 (委 員)

坂 谷 高 義 会 長 、 中 塚 達 子 副会長
大 野 亮 祐 委 員 、 上 村 行 男 委 員
笹 川 一 太 郎 委 員 、 内 堀 恭 子 委 員
萩 野 隆 太 郎 委 員 、 吉 見 温 美 委 員
大 槻 祥 三 委 員 、 細 見 博 美 委 員
大 森 友 子 委 員 、 宮 崎 葉 子 委 員
近 藤 寛 委 員 、 梅 田 秀 光 委 員
吉 見 和 幸 委 員 、

委員 15 名出席

4. 欠席者 (委 員)

野 垣 克 巳 委 員 、 中 道 知 代 子 委 員

委員 2 名欠席

5. 事務局

井上博生 上下水道部長 、 荒木敏明 経営管理課長
西山健吾 下水道課長 、 安達知史 経営管理副課長
矢持竜児 下水道経理係長 、 青木一典 下水道施設係長
和久明一 下水道工務係長 、 萩野佐和子 主幹
藤井 大 主査

6. 会議に付した議題及び案件とその内容

- 日程第1 開 会
- 日程第2 市長あいさつ
- 日程第3 会長あいさつ
- 日程第4 資格審査報告
- 日程第5 議事録署名人選出
- 日程第6 報告事項「パブリックコメントの実施結果について」
- 日程第7 協議事項「丹波市下水道中期ビジョン 2022-2031 について」
- 日程第8 そ の 他
- 日程第9 閉 会

7. 議事の経過

1. 開 会 『午後1時32分』

(事務局)

皆さんこんにちは。

本日はお忙しい中ご出席賜りまして、誠にありがとうございます。

所定の時間がきましたので、ただいまから「第7期第3回丹波市下水道事業運営審議会」を開催いたします。

本日の進行を務めます、上下水道部経営管理課の安達と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、次第に沿いまして、「2 市長あいさつ」林市長より挨拶を申し上げます。

2. 市長あいさつ

(市長)

皆さん、こんにちは。

本日は公私ともに忙しい中、丹波市下水道事業運営審議会にお集まりいただき、大変ありがとうございます。

平素は下水道事業をはじめ丹波市行政につきまして、ご理解とご協力を賜っておりますこと、この場をお借りしまして、お礼申し上げます。

さて、下水道は市民の安全・安心を守る必要不可欠なインフラでありまして、市民が快適に生活できるよう、日々の点検・整備に努めているところでございます。しかしながら丹波市の現状は、老朽化している施設が多くなり、また人口減少に伴う使用料収入の減少など、多くの課題を抱えております。

今回お示ししております、丹波市下水道中期ビジョンは、そういった課題の解決に取り組みまして、次世代につなぐ持続可能な下水道、そして誰もが住みたい快適生活のまちを目指す、今後10年のビジョンでございます。

昨年11月に開催いたしました審議会では、委員の皆様から多くのご意見と熱心な議論をいただいたと報告を受けております。

また、パブリックコメントを実施しましたところ、市民の方々からご意見を頂戴しまして、今回のビジョンに反映しております。このあと会議の中で、修正点などをご説明申し上げますので、ご意見をお聞かせいただきたいと思いますと思っております。

最後になりましたが、新型コロナウイルスがまた感染拡大しております。

丹波市におきましても、11月からずっと0が続いておりましたが、年を越した瞬間にあっという間に広がり、ただいま平均で30人、丹波市で発症があるようです。認定こども園やアフタースクールなどで広がると、働いておられるご家族にご迷惑をおかけするということで大変心配しておりますが、今のところ爆発的な感染は無いということで、丹波市では3回目の接種を皆さんにお願いしているところでございます。大きな封筒が届きましたら、接種券が入っておりますので、すぐにでも接種をお願いします。

今回、モデルナとファイザーが半分ずつぐらい入っております、皆さんにどちらかを選んでいただくこととなります。私はモデルナを打ちまして、前はファイザーでしたがそんなに違いはなく、ほぼ同じような状態でしたので、ぜひどちらかということではなく打てる方で一刻も早く接種していただきたいと思います。委員の皆様もこれから

まだ寒い日も続くかと思いますが十分にご自愛いただきまして、今後ともご活躍いただけますようご祈念申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

本日はよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

3. 会長あいさつ

(事務局)

続きまして、「3 会長あいさつ」坂谷会長よりご挨拶をいただきます。

(会長)

皆さん、ご苦労さまでございます。市長さんからお話がありましたように、この丹波管内でも、オミクロンが猛威を振るっております。

私も3回目を1月28日に受けました。皆さんはどうか。接種券が届いたらすぐに行ってください。このような時期に今日の会を招集し、申し訳ございません。

今日は、第7期第3回の審議会でございます。ご協議のほど、よろしくお願いいたいと思います。

そして本日は修正された最新版の丹波市下水道中期ビジョン2022-2031（案）について、内容の確認等、活発な審議をしたいと思っております。どうかよろしくお願いを申し上げます。

(事務局)

市長におきましては、外せない公務が重なっており、ここで退席となります。皆様ご了承くださいますようお願いいたします。

(市長)

よろしくお願いします。

4. 資格審査報告

(事務局)

続きまして「4 資格審査報告」に参ります。

本日は野垣委員と中道委員の2名が欠席でございます。よって、委員17名中15名で過半数の出席をいただいておりますので、当審議会が成立することをここに報告いたします。

5. 議事録署名人選出

(事務局)

続きまして「5 議事録署名人の選出」に移ります。

本日の議事録署名人につきましては、宮崎委員、吉見和幸委員の2名の方にお願いいたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

ここで報告事項に入ります前に資料の確認を行いたいと思っております。

本日3種類でございます。

1つ目、本日の第3回丹波市下水道事業運営審議会の次第になっております。A4 1枚です。続きまして、右上に資料1と四角に囲ってある1枚もののパブリックコメントの結果となっております。1枚です。

最後に冊子、資料2 中期ビジョンの修正されたものの案となっております。冊子が1冊となっております。以上3つでございます。

それでは、報告事項に入らせていただきますけども、本運営審議会の設置に関する条例第5条の規定によりまして会議の議長は会長が務めることとなっております。ここで交代させていただきます。坂谷会長におきましては進行のほどよろしくお願いいたします。

(会 長)

それでは第7期第3回丹波市下水道事業運営審議会の議事を進めさせていただきます。まず報告事項、「丹波市下水道中期ビジョンの2022-2031（案）のパブリックコメント実施結果について」を、事務局より報告をお願いいたします。

(事 務 局)

－「パブリックコメントの実施結果について」により説明（省略）－

(会 長)

続きまして協議事項に入ります。「丹波市下水道中期ビジョンの2022-2031（案）について」を事務局より説明をお願いいたします。

(事 務 局)

－「丹波市下水道中期ビジョン2022-2031（案）について」により説明（省略）－

(会 長)

今、説明をいただきました内容につきまして、何かご意見がございませんか。ここはわからないとかでも なんでもいいですから。

(会 長)

はい。どうですか。もうちょっと時間を取りましょうか。

－「意見なし」－

(会 長)

無いようですので、これをもってビジョンの策定にかかる下水道事業の方向性や数値目標等について、当審議会の審議は以上とさせていただきます。

なお字句の訂正等、軽微な修正がございましたら事務局の方で行っていただいても構いませんのでよろしくお願いいたします。以上で本日の協議事項は終わらせていただきます。

(会 長)

それでは次に「8 その他」に移りたいと思います。なんでもよろしいからご意見がありましたら、承りたいと思います。

(委 員)

この計画は中期ビジョンということで、10年間ということですが、いろんな公共施設のマネジメントでは30年計画というのがあります。

長期計画と言いますか30年先のことを今後考えていただきたいと思います。それともう一つ、図面を見ていると、これは物理的にできないかもしれませんが、農業集落排水事業の処理場をできるだけ集約をしたらいいかと思います。5ヶ所ぐらいありますので、今後の課題としてまた考えていただいたらなど。少しでもコスト縮減と、人口が減少して処理場の効率がだんだん各地区とも減ってきたのではないかと思いますので、それを今後将来の30年という長期的なことで考えていただいたらなどと思います。

それと今日、丹波土木事務所へ行ってきました。玄関先に治水タンクという、雨水を溜めていろんなことに使用できると、そういうタンクが兵庫県では設置されていますが、治水関係は、下水道も一端を担っているのではないかと思いますので、今後兵庫県の取組みについても丹波市も同じように、PR活動をされたら良いのではないかと。これは補助になるということですが、今後やはり天候不順でいつ集中豪雨になるかわからないということがありますので、特に家が集中しているところなどは、あふれていくようなこともありますので、水を少しでも各家で溜めていくということで、多分兵庫県下の市町でも補助金を出す等取り組まれていると思いますが、丹波市もそういうことで協力なりPRをされてはどうかと思った次第でございます。以上です。

(会 長)

事務局の方、3つのお話があったと思いますよろしくお願いします。

(事 務 局)

まず1点目、下水道のマネジメントについて、長期計画30年を考えていただきたいということですが、一応バックデータとしては持っております。

下水道は丹波市全域でまず最初の整備の時に1,000億円超の投資をしております。それから耐用年数が管渠や処理場ですと50年間で毎年減価償却して行って、50年後には、内部留保したお金でまた再整備というような形になっていくサイクルをずっと繰り返していくという中で、現在、当初計画では丹波市内で8万8,000人の目標人口を処理できる能力の処理場を持っておりました。現状では5万人強の人口ですので、かなり余剰のある施設を持っているということと、今後の人口減少については、丹波市も必ずそのような方向に向かっていきますので、各処理場が現状で半分以下の余裕を持っている処理場もございますので、まずは現状で余裕のある大きな処理場に対して、近隣の小さな処理場を統廃合して目標としては35処理場を、18処理場まで減らしていきたいというような計画は今の2点目も含めて考えております。

現在は以上のような統廃合事業を進めておりますので、その先の話として市町村を跨いだ流域下水道というのが近くでしたら小野市にありますが、こういったところに繋げていって将来的に処理場を減らしていくという方法もございます。ただし、なかなか調整が難しいところもありますので、今後そういったことも含めて、長期計画等を見直しながら進めていきたいと思っております。

それから最後に丹波土木事務所の前の治水タンクの件です。兵庫県下でも神戸市などがされています。雨樋から200Lくらいのタンクを溜めて、家庭菜園の水やり用に使われるというようなタンクがありまして、200Lほどしかないので治水効果としてはあまりないのですが、意識の醸成という意味ではすべきことではあって、過去に検討したこともあります。また今後とも研究しながら、最近はゲリラ豪雨によって下水道の方も不明水などで弱っておりますので、その辺りも含めまして、対策を考えていきたいと思っております。ご意見どうもありがとうございました。

(委 員)

それともう一つ、市民の方にPRしていただきたいのが、施設は自分たちの生活の財産ということを少しでも思ってもらえるようなPRですね。皆とともに施設を維持していきたいと、行政がやってくれるという意識がないように市民の方にPRをしていただけたらありがたいと思っております。

地形的にもいろいろあるんですが、丹波市内の地下に個別の小さなポンプ場が多数あると思っております。この維持管理はなかなかしにくいと思っております。こういうものを、将来できるだけ統合して行って、コストの縮減とかそういうことができないかなと考えます。

そういうことを長期に立って考えていただけたらと、市民としてはそう思います。ありがとうございました。

(会 長)

はい。事務局どうぞ。

(事 務 局)

下水道の施設を市民とともに守っていこうというのは大変素晴らしくて私どももそうしたいと思っております。

現在、油や不織布など流してはいけないものがかなり下水道に流れてきております。中にはお菓子の袋が流れてきたり、使い捨てマスクがそのまま流れてくることもあります。出前講座としてこのビジョンの中に載せておりますが、小学校4年生を対象に、市内のうち半数以上の小学校を対象に出前講座で処理場へ来ていただいて、処理の仕方や微生物がどうやって下水を綺麗にしているかというような学習をしていただいております。その中でも油を流してはいけないとか、不織布を流してはいけないとか、そういった約束を家庭に持って帰っていただき、ご家族に伝えていただくなど、そういった出前講座等で機会があるごとに周知しまして、ともに維持管理していると思っていただくような体制を検討していきたいと思っております。

それから市内の小さなポンプ場を統合できないかということで、市内 393 ヶ所あります。それぞれのポンプ場には、大体 2 台のポンプが入っておりまして、数十万円から一千万円を超えるようなポンプもありますので、油を流されると熱い油は流れますが冷えてポンプで固まって固着してしまうとか、不織布とかマスクとか流されますとポンプに絡んで、ポンプに詰まって故障すると。多いのは紙おむつを流される方、タオル、パンツ、この前はタワシが嚙んでいました。様々なものが流されて、数台ずつ、大体毎月 10 回とか目詰まりを起こして、引き上げては清掃しているような状況でございます。

頻度が高いところにはもう個別に自治会単位で地域を絞って周知に回っておりますが、そういったことが、全域でできますよう回っていきたいと思いますが、下水道は高いところから低いところへ流れて、次に送るときに高いところへ送るためにポンプをつけていますので、ポンプを無くしたり統廃合するということは、物理的には難しいような状況になっております。また何らか、できるだけそういうコスト削減に向けた取り組みができたと思います。

(委 員)

今後とも、私たちも PR していきたいと思っております。大事な生活施設であると思っております。ありがとうございました。

(会 長)

ありがとうございました。他、何かありませんか。

(事 務 局)

今後の下水道中期ビジョンの策定スケジュールですが、先ほど坂谷会長の方でまとめていただいたとおり、今回、中身の検証については以上ということにさせていただいて、細かい誤字であるとかちょっとした修正箇所だけ、事務局で確認をさせていただいて、3 月議会へ最終報告し、ホームページ上での公開ということで進めさせていただきますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

(会 長)

事務局も他にはありませんか。

審議会の皆さん、何かありませんか。

それでは、本日の第 3 回の会議はこれをもって終わりたいと思います。それでは副会長から閉会の言葉をお願いします。

(副 会 長)

皆様お疲れ様でございました。ありがとうございました。

委員の皆さん今後ともご意見、ご議論をよろしくお願い申し上げます。閉会の挨拶とさせていただきます。

『午後 2 時 13 分終了』